

1 取組について

会議名 介護予防事業担当者連絡会 令和2年6月24日(水)
テーマ 「新型コロナウイルス禍の介護予防事業の推進のあり方を考える」
内容 1 緊急事態宣言解除後に地域の状況について共有
2 課題に対する取組について
出席者 地域包括支援センター職員、地域支え合い推進員、社会福祉協議会 地域福祉係
高齢介護課・地域福祉課

2 抽出された課題に対する取組提案について

(1) 停滞した小地域福祉活動の再開に向けての支援

- ・感染防止マニュアルの周知
- ・地域活動者ごとのより詳細な状況の把握とそれに応じた支援(感染予防に係る費用負担、場所等)
- ・分断された地域活動者への情報発信

(2) 新たなつながりの検討と模索

- ・オンラインミーティングの開催等
- ・職員のICTに関する知識不足
- ・集いの場・介護予防教室の「小規模化」と「拠点化」

3 2に対する取組状況について

(1) ① 地域支え合い推進員による支援により再開

(東山手地区)

*プラチナサークル、わかば会

高齢者施設を活動の場としていた集いが、施設の使用禁止により活動が休止となる。新たな活動場所の提案により再開することができた。

*朝日ヶ丘集会所・元気体操

体操教室の再開にむけ講師の紹介調整により活動が再開することができた。

(西山手・精道地区)

*ふれあいカフェ

ボランティア活動を希望している方をカフェのスタッフとして紹介調整することにより再開。また、手芸品づくりをしている活動者の出店のコーディネートも行い、カフェの再開を盛り上げることができた。

*就労ニーズのコーディネート

施設の清掃・消毒スタッフの欠員について、社会福祉協議会の生活困窮者自立相談支援事業の相談支援員と連携し、就労ニーズのある方に就労機会を提供することができた。

(潮見地区)

*元気とどけ隊

「あしもり」記事掲載参照

*リコーダーボランティアとイベントのマッチング(潮見地区)

新型コロナウイルスの影響で活動の場がなくなっていたリコーダーボランティア活動者に、屋外イベント「元気と音

楽を届ける」について出演の提案をした。主催者である「潮芦屋ふれあい元気の会」の開催趣旨に賛同してもらうことができ、イベント出演につながった。

(1) - ② 「あしもり」発行 2000部

(2) - ① 新たなつながり・活動

- ・ さくらカフェ×甲南高校（認知症カフェ 東山手地区）
- ・ 笑いヨガ@中央公園（精道地区）
- ・ 西浜公園の体操（潮見地区）